

つなぐ

令和4年9月15日
校長 笹谷 真理子

2学期が始まりました。

長い夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が学校に戻ってきました。今年の夏休みは、ここ2年ほどの夏休みと違い、あまり行動の制限がありませんでした。例年よりも、いろんな体験ができた夏休みだったのではないのでしょうか。2学期が始まり、2週間余り経過としています。暑さも少しおさまり、学習にも落ち着いて取り組むことができる季節になりますが、石川県内の新型コロナウイルスの感染者は、高止まりが続き、まだまだ心配な状況です。

学校では、感染対策をさらに徹底し、特にマスクを外す給食の準備から「だんまりの徹底」に取り組んでいます。2学期は様々な行事が予定されています。感染対策と熱中症対策を講じながら、子どもたちが充実感や達成感を味わい、成長できる機会となるよう、職員一同努めてまいります。ご家庭でも子どもたちが、元気に行事に参加できるよう、健康管理にご配慮ください。よろしくお願いいたします。

自分で考え行動できる子に～自己決定を促す3つの言葉～

これからの時代に求められる大切な力の一つが、「自分で考え判断し、行動する」力です。この力がないと、当事者意識がなく人まかせて、言われるとおりに動き、結果うまくいかなかったときに他人のせいにする…ということになります。そこで大事なのが「自己決定」です。子どもに自己決定する機会を与え、結果ではなく、行動しているプロセス(過程)を褒めることが大切です。自己決定の機会を増やしていくことで、子どもたちの自己肯定感が上がり、自信と主体性がついてきます。最近読んだ本で読んだ自己決定を促す3つの言葉を紹介します。

① 「どうしたの?」(何か困っていることはあるの?)

・自分の置かれている状況を言語化 子どもが何をしても怒らないのがポイント

② 「どうしたいの?」(これからどうようと考えているの?)

・子どもの意志を確認 考えるためのきっかけづくり

③ 「何を支援してほしいの?」(私に先生にできることはある?)

・問題解決の手助け 味方だよと伝えることにもなる

工藤雄一・青砥瑞人著
「自立する子の育て方」より

大人が、子どもへの声かけを意識することで、子どもたちは必ず成長します。心がけていきましょう!

みんなの気持ちが明るくなる学校!

児童玄関にパッと目を引く掲示物があります。

1学期に運営委員会のみなさんが、学校経営ビジョンの「みんなが幸せになる学校」から、学校のスローガン「みんなの気持ちが明るくなる学校」をつくってくれました。そのスローガンが、2学期から児童玄関に掲示されています。2学期に入り、少し朝の挨拶の声が小さい子が多いなと感じています。朝から「気持ちが明るくなるあいさつ」を目指しましょう!



奉仕作業ありがとうございました！

10日(土)に奉仕作業が行われました。

早朝にも関わらず大勢の保護者の皆さんが、参加してくださいました。町別に、それぞれの担当場所で、校内では床みがきや窓ガラス拭き、トイレ掃除、エアコンのフィルター掃除・外では草むしりや泥上げ等の作業をしていただきました。外回りは4年ぶりの実施ということで、手つかずだったところもあり、ご苦勞をおかけしましたが、おかげさまで大変きれいになりました。校舎内も、床や階段、窓ガラスの汚れ落ち、校内が明るくなりました。普段、子どもたちも一生懸命掃除をしています、子どもの手では行き届かないところを、丁寧にいただき、本当にきれいになりました。

きれいに整った環境の中で、落ち着いて学習や行事に取り組んでいきたいと思います。

ご協力いただき、本当にありがとうございました。



おらせ

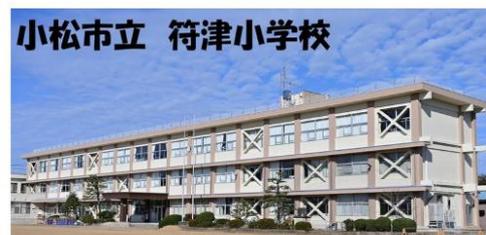
符津小学校 HP！ぜひご覧ください！

今年度、5月GW明けからHPの「符津っ子の様子」を更新してきました。

アクセス数が増え、本校HPを見てくださる方の数が増えています。

子どもたちのがんばっている様子や学校の行事など、保護者の皆様や地域の方々に知っていただくために、情報発信していきたいと思っています。更新できない日もあるかもしれませんが、こまめにHPを開いてみてください。

よろしくお願いいたします！



更新中！



[小松市立符津小学校]で検索
または
こちらのQRコードから